

## 転用許可基準

### i 立地基準

農地を、その営農条件及び周辺の市街地化の状況からみて区分し、許可の可否を判断します。

農地の区分	農地の状況	許可方針
①農用地区域内の農地 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村が定める農業振興地域整備計画において農用地区域とされた区域内の農地（農振青地）</li> </ul>	<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">原則不許可</p> <p>(例外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用施設、農産物加工施設等</li> <li>・土地収用法該当施設</li> </ul>
②甲種農地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街化調整区域内の農業公共投資後8年以内の農地</li> <li>・集団農地（10ha以上）で高性能農業機械での営農可能農地</li> </ul>	<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">原則不許可</p> <p>(例外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用施設、農産物加工施設等</li> <li>・土地収用法該当施設</li> <li>・都市と農村の交流に資する施設</li> <li>・集落接続の住宅等</li> </ul>
③第1種農地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団農地（10ha以上）</li> <li>・農業公共投資対象農地</li> <li>・生産力の高い農地</li> </ul>	<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">原則不許可</p> <p>(例外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用施設、農産物加工施設等</li> <li>・土地収用法該当施設</li> <li>・都市と農村の交流に資する施設</li> <li>・集落接続の住宅等</li> <li>・農業従事者の就労機会寄与施設</li> <li>・既存施設の拡大等</li> </ul>
④第2種農地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地</li> <li>・市街地として発展する可能性のある農地</li> </ul>	<p>第3種農地に立地困難な場合等に許可</p>
⑤第3種農地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市整備がされた区域内の農地</li> <li>・市街地にある農地</li> </ul>	<p style="color: blue; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">原則許可</p>
⑥市街化調整区域内の農地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画法の「市街化区域」の区域内にある農地</li> </ul>	<p>農業委員会への届出</p>

※農用地区域：農振法（農業振興地域の整備に関する法律）に基づき市町村が、知事の認可を受けて今後長期にわたり農業上の利用を確保すべき土地の区域として農業振興地域整備計画に定めているもので、農業公共投資はこの農用地区域内に集中して実施することとなっている。